

「ねえ、お父さんはどう思うの。」

「うん、なかなかいいんじゃないかな。無駄なゴミはたしかに多いから、お父さんは賛成だよ。でも、実際にやるときにはいろんな問題があるだろうから、反対も出るだろうな。この投書欄をしばらくみていてごらん。きっと、他の意見が出てくるよ。」

そこで、幸江さんは毎日投書欄に目を通すことにした。すると3日後に、次のような意見が載せられたのである。

B <ゴミ収集の有料化に反対> (38才、主婦)

18日づけで、ゴミ捨てを有料にしてはどうかというご意見がありました。趣旨はたいへんよくわかるのですが、実際に行うのは無理ではないかと思います。

消費税が5%もとられて、この不景気。家計がただでさえ苦しいのに、しょっちゅう出るゴミにまで1袋100円というお金をかけられたのではたまりません。きっと、こっそりと出してしまう人もいます。決められた収集日以外に出してしまう人がいるくらいですから。

欧米ではそうしたモラルがかなり高いのではないのでしょうか。それに、もし日本人のモラルが高いならば、何も有料化しなくても、できるだけ無駄なゴミを少なくするようにできるはずですよ。一人ひとりが気をつければ解決できる問題ではないでしょうか。

（市川伸一の文章による）

問1 Aの投書者は、ゴミの収集を有料化すると家庭および商品の販売において、それぞれどのようなことに気をつけるようになると考えているのでしょうか。それぞれ20字以内で書きなさい。

問2 Bの投書者は、ゴミ収集の有料化を実際に行うのは無理だと考えていますが、その理由は何だと述べているのでしょうか。20字以内で2点にまとめて書きなさい。

問3 ゴミ収集を有料化することについて、あなたはどのように考えますか。次の各点に留意しながら、説得力のある文章となるように工夫して、300字程度で書きなさい。ただし、原稿用紙は縦書きとし、解答欄の字数内におさめること。

①賛成・反対いずれかの立場に立って書き、その立場を文章中に明示すること。

②賛成の場合は投書Bの意見に対する反論を、反対の場合は投書Aの意見に対する反論を含めること。